

大学の世界展開力強化事業(平成29年度選定) 東京大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度29年度・(タイプB(インド))
インド プラットフォーム構築プログラム

【事業の概要】

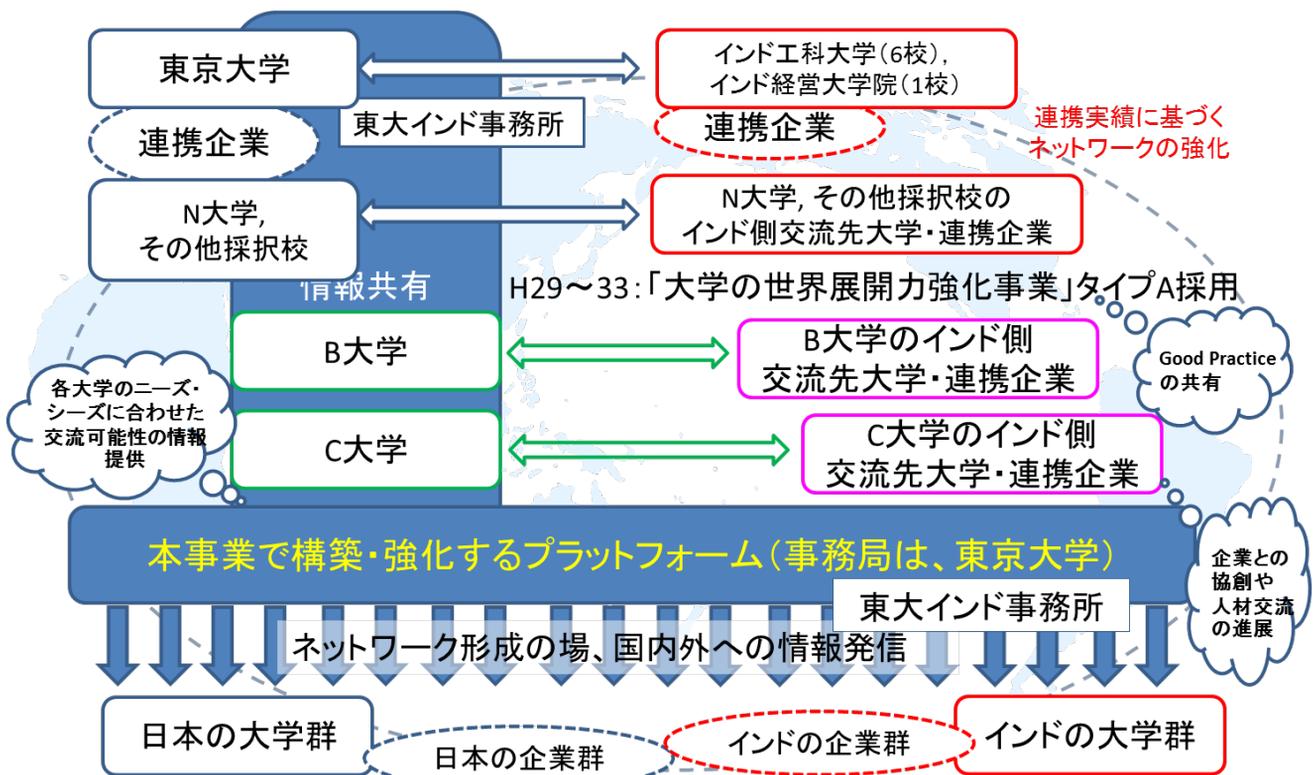
各大学・機関で実施されている日印交流事業を貫くネットワークを形成し、多様な情報を横断的に共有することで、日印の大学、企業等とともに新たな交流を創出し、持続可能で強固な日印交流を発展させるプラットフォームを構築する。

具体的には平成26年度に「大学の世界展開力強化事業(インド)」に採択された4大学(長岡技術科学大学、北陸先端科学技術大学院大学、立命館大学、本学)、平成29年度に新たに採択された2大学(北海道大学、広島大学)及びインドの交流相手大学、日印の連携企業等を中心にプログラム間での情報共有や情報発信を横断的に実施するプラットフォームを構築して、日印の大学間交流を一層促進する。

プラットフォーム事務局の体制を構築し、ホームページ、掲示板の開設と関連イベント情報等に関するメールニュースの配信により次に示す組織に対して有用な情報を提供し、イベント、事業の共同実施や協力を促すような仕組みを構築する。

- ・すでに大学の世界展開力強化事業(インド)に採択されている大学
- ・採用されていないが、これから国際交流の取組みを始めようとしている大学(研究科、専攻、教員)
- ・国際的な人材獲得やインド国内での事業実施の意欲がある(あるいは実施中)の産業界

また毎年1回程度合同シンポジウムを開催して、関係者が一同に集うことで情報共有のみならず人的ネットワーク形成するプラットフォームを構築する。



【本事業の特徴】

世界展開力強化事業だけに限らず、本学ではインドとの交流事業を様々な分野や形式で実施している。特に本学インド事務所を活用し、留学生コーディネーター配置事業を通じて、日本のすべての大学に対し日印交流の協力を実施している。また、インド鉄道省からの国費留学生の受入れについても幹事校として全体調整や説明会を企画・実施している。これらの経験を基に他大学のニーズに合わせた交流可能性の情報提供や新たな交流の場を提供することができる。

1. 取組内容の進捗状況(平成29年度)

【事業の名称】(選定年度29年度・タイプB(インド))

日印交流プラットフォーム構築プログラム



■ 取組状況

本事業初年度である平成29年度は、次年度以降の本格的な事業開始へ向け、事務局の整備、ホームページの立ち上げ、連携大学への協力依頼を中心に活動した。主な活動は以下の通り。

・まず本事業の中核となる情報発信ツールであるホームページを作成した。日印交流に関する様々な情報を収集・共有し、またSNSを通じて関連情報を随時発信していく準備を行った。(写真1)

・日印交流を大学関係者、学生、企業関係者等様々なレベルで推進するためプログラムを紹介するリーフレットを作成し、本学が交流するインドの相手校、大学の世界展開力強化事業採択校各校、本学インド事務所等へ配付し、関係者やイベント等さらなる配付を依頼した。(写真2)

・採択校連絡会を開催し、大学の世界展開力強化事業を実施している大学の関係者が一同に会し、採択校間でのグッドプラクティスの共有や本事業の目的や今後の要望等について意見を収集するとともに、今後の活動等について意見交換を行った。また本学インド事務所長も参加することにより、採択校の現地活動のための情報提供等を行った。(写真3)



〈写真1: 日印交流プラットフォーム構築プログラムホームページ〉



〈写真2: 日印交流促進のためのリーフレット〉



〈写真3: 採択校連絡会の様子 2018.11.10〉

・本学教員がIITカラグプール校、インド鉄道省国費留学説明会、IITボンベイ校を訪問し、関係者へ本事業の協力を依頼するとともに、本事業への要望等意見交換を行った。また、説明会等の場を利用し本事業の広報を行った。

・北海道大学で実施されたFD研修会に参加し、多くの教職員に本事業について紹介するとともに、日印交流の一層の連携が確約できた。

■ 特記すべき事項等

・11月にIITカラグプールを訪問し、同校に所在する鉄道研究所を訪問するとともに、IITカラグプールで開催された留学説明会に参加した。同校の土木工学専攻長や教員と意見交換を行うとともに、本事業についての広報と協力を依頼した。

・平成30年2月にデリーで開催したインド鉄道省説明会へ本学教員4名が出席し、日本留学について他大学と連携し鉄道省にて説明するとともに、個別分科会において講義を行った。

合わせて、関係大学およびインド側連携大学と意見交換や協力依頼を行った。

学生派遣を実施しているタイプAにおいても、連携大学や企業等を訪問した際に、本事業への協力依頼を行った。



〈IITカラグプールでの留学説明会〉

2. 取組内容の進捗状況(平成30年度)

【事業の名称】(選定年度29年度・タイプB(インド))
日印交流プラットフォーム構築プログラム



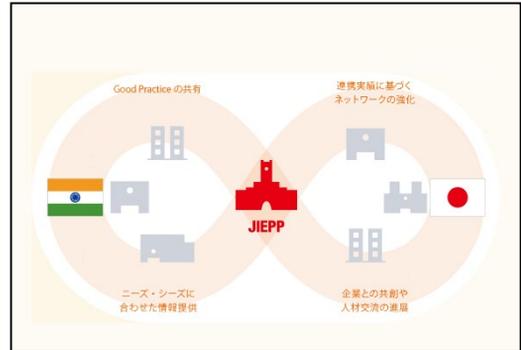
■ 取組状況

事務局体制の維持・強化、ホームページの内容充実及びホームページやSNSを通じた情報発信、日印交流関係機関や他の採択大学との協力関係促進、第1回シンポジウム開催等の活動を行った。主な活動は以下の通り。

- ・本事業の中核となる情報発信ツールであるホームページを改修し内容を充実させた。見やすさを改善するとともに、コンテンツを拡充した。プラットフォーム構築の目的から、本学以外による日印交流イベントについての情報提供も行っている。(写真1)
- ・SNSの発信では、本学インド人留学生会とも連携することで、学生のシンポジウム参加を促している。



〈写真1: 日印交流プラットフォーム構築プログラムホームページ〉



〈日印交流プラットフォーム構築プログラムのイメージ図〉

・12月に第1回シンポジウムを開催し、広く日印交流に携わる又は関心のある関係者が一堂に会し、意見交換を行った。(写真2)

・本学教員が中心となって、本学インド事務所、日印交流実施部局に加え、北海道大学をはじめとする採択大学や国費大使館推薦インド鉄道省プログラム参加大学、JST等政府機関とも交流を促進し、事務局の連携強化を図った。

・JSTさくらサイエンスプランで来日したインドの有力大学(インド工科大学、インド科学教育研究大学など19校)の教員と政府機関職員を本学で受け入れ、本学教員、学生と意見交換を行った。また、STSフォーラム・インドワークショップで本学教員が参加、鉄道省セミナーをデリーで実施した。



〈写真2: 第1回シンポジウム開催〉

■ 特記すべき事項等

・12月20日に東京大学にて第1回シンポジウム「日印交流の現状と展望－プラットフォーム構築に向けて」を開催した。日本人・インド人学生、採択校からの教職員、採択校以外で日印交流を行う又は関心のある教職員および様々な企業の関係者が一同に集まることができ、また自由な意見交換・情報交換の場を提供できたため、様々な新たな交流や連携を創出する機会となった。(写真3)

アンケートの結果、約70%の人が「日印交流の現状がよくわかった」と回答があり、残りの30%についても「日印交流の現状が少し理解できた」と回答があったことから、日印交流についての現状の状況を共有できた。



〈写真3: 第1回シンポジウム フライヤー〉

3. 取組内容の進捗状況(令和元年度)

【日印交流プラットフォーム構築プログラム】(選定年度29年度・タイプB(インド))

■ 取組状況



〈写真1 第2回JIEPPシンポジウム登壇者、令和元年12月20日〉



〈写真2 第2回JIEPPシンポジウム会場の様子、令和元年12月20日〉

●事務局体制の維持・強化、ホームページの内容充実及びホームページやメールを通じた情報発信、日印交流関係機関や他の採択大学との協力関係促進、第2回シンポジウム開催等の活動を行った。主な活動は以下の通り。

・ホームページを改修し内容を充実させた。見やすさを改善するとともに、コンテンツを拡充した。プラットフォーム構築の目的から、本学以外による日印交流イベントについての情報提供も行っている。

・第2回JIEPPシンポジウムは「日印交流プラットフォームの拡大と活用」と題し、大学から社会にリーチする日印交流の広がりについて議論した。第一部では広島大学大学院国際協力研究科教授の藤原章正氏、株式会社エンリッション代表取締役CEOの柿本祐輔氏、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)ビジネス展開・人材支援部国際ビジネス人材課の河野堯広氏が講演した。第二部のパネルディスカッションでは、3名の講演者に、サオラ株式会社代表取締役の須田アルナローラ氏も加わり、インド出身者の日本社会への定着について活発な議論が行われた。

・第2回JIEPPシンポジウムでは、大学の世界展開力強化事業(インド)採択校である北海道大学、広島大学の他に、日印交流を実施している大学、企業関係者、インド大使館関係者、日本の公的機関、インド出身の留学生などの参加があった。多様なステークホルダーが一堂に会する、新たなネットワーク構築の場を提供できた。

・JSTさくらサイエンスプランで来日したインドの有力大学の教員と政府機関職員を本学で受け入れ、本学教員、学生と意見交換を行った。また、STSフォーラム・インドワークショップで本学教員が参加、鉄道省セミナーをデリーで実施した。

・国際ワークショップ「インド鉄道省留学生×鉄道研究会」を開催し、鉄道を軸にした学生交流の場を提供した。

■ 特記すべき事項等

・第2回JIEPPシンポジウム、国際ワークショップ等、産官学の連携を意識しつつ、留学の促進にも寄与する内容の活動を行った。

・大学の世界展開力強化事業(インド)採択校である北海道大学、広島大学とシンポジウム等で情報交換を行った。

・芝浦工科大学や岐阜大学のように、独自に日印交流活動を行っている大学のイベントに参加し、ネットワークの拡大に努めている。

文部科学省 大学の世界展開力強化事業(インド) 第2回シンポジウム
日印交流プラットフォームの拡大と活用

日時・会場
2019/12/20(金)
13:00~15:45(開場/12:30)
山上会館
大会議室及び201、202会議室
東京都千代田区千代田1-8-1
TEL:03-3812-2111

プログラム ※同時通訳付
13:00~13:10 開会挨拶
13:10~14:10 招待講演1) 藤原章正氏
広島大学大学院国際協力研究科 教授
招待講演2) 柿本祐輔氏
株式会社エンリッション 代表取締役CEO
招待講演3) 河野堯広氏
独立行政法人 日本貿易振興機構
14:10~14:30 コーヒーブレイク
14:30~15:30 パネルディスカッション
15:30~15:45 散会 閉会挨拶

プログラム 講演者の最新情報はこちら↓
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/jiepp/ja/symposium/index.html>

同時開催
インド写真展

お問合せ先 JIEPP事務局
TEL:03-6641-0263
Mail: jiepp.adm@u-tokyo.ac.jp

シンポジウムのお申し込みはこちらから
<https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/forms/1571963483/>

大学の世界展開力強化事業「日印交流プラットフォーム構築プログラム」

〈写真3 第2回JIEPPシンポジウムフライヤー、令和元年12月20日〉



〈国際ワークショップ インド鉄道省留学生×鉄道研究会、令和元年12月14日〉

4. 取組内容の進捗状況(令和2年度)

【日印交流プラットフォーム構築プログラム】(選定年度29年度・タイプB(インド))

■ 取組状況

●事務局体制の維持・強化、ホームページの内容充実及びホームページやメールを通じた情報発信、日印交流関係機関や他の採択大学との協力関係促進、第1回日印交流セミナー開催、第3回シンポジウム開催等の活動を行った。主な活動は以下の通り。

・第1回日印交流セミナー

令和2年度の新たな取組として「日印交流セミナー」を開始した。これは日印交流の多様な関係者間の情報共有や交流の場とするため、個別具体的なテーマを設定して実施している。第1回は、令和3年1月29日に「日印交流とデジタル社会の将来」と題し、インド工科大学ハイデラバード校(IITH)の片岡広太郎准教授を講師に招き、コメンテーターを本学情報理工学系研究科の定兼邦彦教授が務めてオンラインで開催した。当日は大学関係者や企業関係者56名の参加があった。講演では、IITでの人材採用プロセスやIIT学生の進路選択動向に関する解説に続き、日本企業がIIT学生ならびにインドの優秀な学生を採用するためには、まず日本の企業・大学の側から自分たちの良さを知らせてもらう働きかけが必要であるという提言があった。定兼教授や司会の加藤隆宏准教授(本学)に加えて参加者を交えての質疑応答もあり、活発な情報交換が行われた。



〈第1回日印交流セミナー フライヤー、2021年1月29日開催〉



〈第3回JIEPPシンポジウム登壇者、2021年3月5開催〉

・第3回JIEPPシンポジウム

令和3年3月5日に、「産学連携のグローバル展開～日印交流の重要性」をテーマとして第3回JIEPPシンポジウムを開催した。今回は産学連携に関する多様な最先端なグッドプラクティスの共有によって、日印交流を軸とした産学連携をグローバルに拡大し深化させるうえで求められるプラットフォームの役割に関し意見交換を行った。シンポジウムはオンラインで行われ、大学関係者や企業関係者を中心に115名が視聴した。来賓挨拶等に続き行われた藤井輝夫本学理事・副学長(当時、現総長)による基調講演「東京大学の未来社会協創」では、本学の産学連携と日印交流の取組に関し最新の状況が報告された。

続いて行われたパネルディスカッションでは長岡技術科学大学、岐阜大学、松江市、日本タタ・コンサルタンシー・サービスが登壇し、それぞれの日印交流の取組に関する発表およびディスカッションを行った。JIEPPシンポジウムは、様々な日印交流の関係者が一堂に会して新たなネットワークを構築できる場として定着してきており、今後も可能な限り継続して実施することを計画している。

・JASSO「全国キャリア教育・就職ガイダンス」、北海道大学「STSIプログラム教育交流研究会」に参加し、本学の日印交流の取組を広報するとともに、他大学・他機関による日印交流関係者との連携を深めた。これらのイベントでは本学インド事務所との協力のもと、留学生増加に向けた情報共有を行った。

・当事業の重要なツールであるウェブサイトを改修し、本学内外の日印交流情報を閲覧しやすく整えた。

■ 特記すべき事項等

・今年度の取組では日印交流を軸とした産学連携の取組からグッドプラクティスを共有し、関係者間の連携を深めることを重視して活動した。JIEPPシンポジウムでは産官学それぞれの当事者が活発な意見交換を行うことで新たな連携につなげることができた。セミナーでは産学双方にとって有益な情報を大学から発信することにより、大学を主体とした産学連携の取組ができた。これらの成果は他大学のイベントでも共有し、大学間連携にも役立っている。

・第3回JIEPPシンポジウムおよび第1回日印交流セミナーでは、オンラインツールを積極的に活用し、インドや地方に在住する関係者と有意義な情報共有を行うことができた。セミナーではオンライン懇親会も開催し、通常オンラインでは難しいとされる自由な交流を実施できた。



〈第3回JIEPPシンポジウム、2021年3月5開催〉

5. 取組内容の進捗状況(令和3年度)

【日印交流プラットフォーム構築プログラム】(選定年度29年度・タイプB(インド))

■ 取組状況

●事務局体制の維持・強化、Webページの内容充実及びWebページやメールを通じた情報発信、日印交流関係機関や他の採択大学との協力関係促進、第2回・第3回日印交流セミナー開催、第4回シンポジウム開催等の活動を行った。主な活動は以下の通り。

・第2回・第3回日印交流セミナー

「日印交流セミナー」は、日印交流の多様な関係者間の情報共有や交流の場を作ることを目的として、令和2年度から開催している。第2回は、「日印関係における大学の役割とは」と題し、オンラインで開催した。当日は学生を含め大学関係者や企業関係者60名の参加があった。講演では、仏教伝来から始まる日印交流の歴史およびインド思想の解説があり、世界のトップ企業で活躍するインド出身者の思想基盤に迫った。第3回は、「インド人留学生OBが語る わたしの日本留学と就職活動」と題し、オンラインで開催した。当日は学生を含め大学関係者や企業関係者97名の参加があった。インド人の日本留学経験者3名が登壇し、留学・就職活動・現在の仕事についての体験談、インド人留学生が何を求めているかについて語った。また、本学の留学生向け就職支援プログラムについて説明を行った。いずれの回でも参加者・登壇者を交え活発な情報交換が行われた。



〈第2回日印交流セミナー フライヤー、令和3年7月16日開催〉
〈第3回日印交流セミナー フライヤー、令和3年11月26日開催〉

・第4回JIEPPシンポジウム

令和4年2月24日に、「大学による日印交流事業の成果と展望」をテーマとして第4回JIEPPシンポジウムを開催した。今回は、平成29年度採択の世界展開力強化事業(インド)が最終年度となることから、これまでの成果を採択校で振り返り、日印交流の今後の展望について議論を行った。シンポジウムはオンラインで行われ、大学関係者や企業関係者を中心に105名が視聴した。インド工科大学ボンベイ校Amit Agrawal教授による基調講演「Japan-India Connect」では、日本の各大学と同校における交流事例が紹介された。続いて、世界展開力強化事業(インド)の採択校である各大学が成果発表を行った。本学では、渡邊聡総長特任補佐・工学系研究科教授が令和4年度以降も「日本留学海外拠点連携推進事業(南西アジア)」と連携しながらプラットフォーム事業を発展させていく予定であると表明した。



〈第4回JIEPPシンポジウム登壇者、令和4年2月24日開催〉

・当事業の重要なツールであるウェブサイトやTwitterなどのSNSを活用して、本学内外の日印交流の最新情報を配信した。

■ 特記すべき事項等

・今年度の取組では、インドの歴史的・思想的背景やインド人留学生に対する理解を深めること、および、各日印交流関係機関間で取組実施状況やグッドプラクティス等を情報共有することを重視して活動した。セミナーではインドの歴史・思想の解説、インド人日本留学経験者の体験談を配信することで、関係者のインドへの理解を深めることにつながった。シンポジウムでは、世界展開力強化事業の各採択校が、成果・課題・展望について発表し、情報共有・意見交換を行った。各大学の取組における工夫やその結果としての成功事例を学ぶ機会を提供し、今後の国際交流プログラムの向上に寄与した。

・シンポジウム以外でも、大学の世界展開力強化事業インド事業(H26、H29年度採択)採択校を招き「日印交流関係機関連絡会」を2回開催し、各採択校の交流事業の状況について情報共有を行った。連絡会では、世界展開力強化事業の終了後も各採択校との協力関係を維持していくことが確認された。



〈第4回JIEPPシンポジウム登壇者、令和4年2月24日開催〉